

## 基本的対応

- ・体調が悪いときは、自宅で休養する
- ・健康観察は毎日行う 検温表はなしとする
- ・3密を避けて教育活動を実施する
- ・日常的な清掃活動により衛生管理を行う
- ・日常的な手洗い・手指消毒を励行する
- ・接触感染、飛沫感染のリスクを最小限にとどめる

## 具体的対応

### 3密回避

- ・スクールバスは6台で運行し、バスの乗車人数を減らす  
バス内でのマスクの着用は求めない
- ・昇降口の密を回避するため、到着順に下車する
- ・教室及び特別教室等では密にならないように配慮を行う  
集会は学部や学習グループ単位で行う
- ・対角で窓を開け、常時換気する

## 教育活動

- ・合唱は間隔の確保、換気等一定の対策を講じた上で実施する
- ・プール学習はプールでの脱衣時間を分散する等一定の対策を講じた上で実施する
- ・調理は当面、現在の対応(自分の分のみ作る、道具の使い回しはしない)を継続する
- ・その他の教育活動は基本的な感染対策を講じた上で実施する

## 健康管理

- ・登校前の検温や健康観察を保護者に依頼する
- ・登校後に検温を行う
- ・風邪症状、のど痛、嘔吐、息苦しさ、だるさ、味覚・臭覚の異常等  
症状がないか観察や問診などで確認する

## その他

- 給食: 教職員が配膳し、児童生徒は他人の食事に触れない  
摂食介助中に喫食はしない
- 寄宿舎: 基本的な感染対策を行って活動する
- 教職員: マスクの着用は児童生徒と同様とする

環境が整わないときはマスクを着用する

また、地域や学校において感染が流行している場合などには、一時的に活動場面に応じた対策を講じる